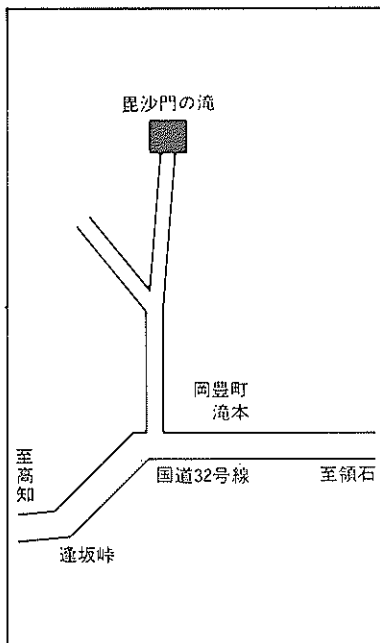


史跡・文化財めぐり⑤（毘沙門の滝）



毘沙門の滝は、岡豊の滝本にある。高さ30m、3段にわかれて落ちてとても見事である。前方の池には、緋鯉が遊んで長閑である。周囲には老木が茂り、歴史を秘めた毘沙門堂もある。

その昔弘法大師が、毘沙門天を彫刻し、それをまつたのが、この毘沙門堂のおこりだという。南国市指定の名勝地である。

長宗我部氏の盛んであったころには、規模の大きな滝本寺があった。

“滝本は外から見れば小寺なりいりいて見れば名所大寺。”
という草取歌がいまに残っている。

広報 **なんこく**

9 / 15 1975 No.203
編集・発行／南国市広報委員会